

「自己破産」する人が悪い?

消費トラブルを 斬る

»6



岸田和俊
弁護士

最近、「自己破産」という言葉をよく耳にしますが、借りたお金を返さないことは悪いことではないでしょうか。そもそも、ギャンブルなどで浪費して自己破産をしてしまう人が悪いのではないであります。実態を教えて下さい。

**
**
**
**
なるほど、そういう受け止め方もあるでしょうが、自己破産の原因で一番多いのは、生活費の不

足を補うために消費者金融から借りたお金が返せないなどの収入が少ない人が多いのです。生活費が不足する理由にも、もともとの収入が少ないなど、本人はどうしても自分の給料が減ったなど、本人ではどうしようもないケースが少なくありません。ギャンブルなどの遊興費のためにお金を使ったりたというケースは、むしろ少數派です。

金利で過剰融資を行ってきた消費者金融の仕組みが背景にあり

融の仕組みが背景にあり

人が必ずしも悪いとは

言ひ切れません。

(岸田和俊弁護士)

すぐに返せるのではなくして、借金が雪だるま式にかといふ疑問がわくかも知れません。

これまで、消費者金融は利息制限法の金利を上

げに借りたお金は、手元

に残らないケースが大半

です。しかも、会社勤め

た。この金利がどれくら

い高いかを一例にとる

と、三十万円を年率29.

2%の利息で毎月一万円

月には借りたお金に利息

をつけ返す条件で借りた場

合、借金を完済するまで

は、低所得

者を支える制

度が確立され

ていない福祉

の問題や、高

金利で過剰融

資を行ってきました消費者

金利で過剰融

資を行つてきました消費者

金利で過剰融

資を行つてきました